LION

保存用

電動断裁機

No.911 ・ No.912

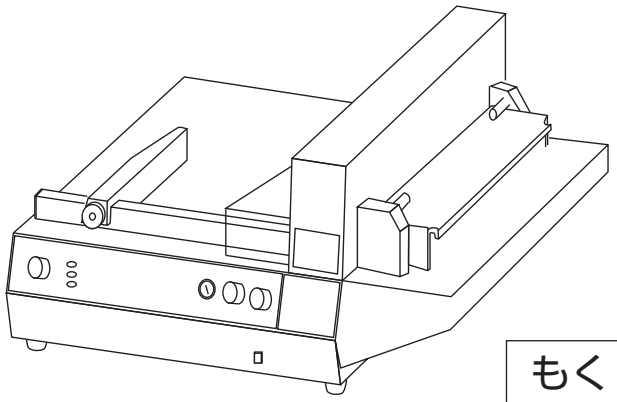
取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、ライオン電動断裁機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



平成23年7月改訂
労働安全衛生法における
型式検定取得製品

(社)産業安全技術協会　型式検定取得
型式検定合格番号　TA509号

もくじ

- 安全上のご注意 ……1・2
- 仕　様 ……3
- 各部のなまえ ……3
- 使用方法 ……4
- 断裁刃の交換方法 ……5
- 受木の交換方法 ……6
- 断裁刃の研磨について ……6
- お手入れ方法 ……6
- 定期自主検査について ……6
- 修理を依頼される前に ……7・8
- その他 ……

安全上のご注意

安全にお使いいただくために
ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから、必ずよく読みお守りください。

⚠危険	この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性が高い内容。
⚠警告	この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性がある内容。
⚠注意	この注意事項を守らなければ、傷害を負うか又は物的損害が生じる可能性がある内容。

⚠危険

- 断裁作業は必ず一人で行なってください。
- 刃の下には絶対に手を入れず、絶対に刃先にはふれないでください。

⚠警告

- 本体を持つときは必ず二人以上で作業を行い。滑りにくい手袋を装着し、本体底部をしっかりと持ってください。
- 設置する場所はお子さまの手の届かない場所、水平で重量に耐えられる安定した場所に設置してください。
  (60kgに耐えられること　キャスター付きの場合はロック機能有りのこと)
- 十分な作業スペースを確保し、安定した場所で作業をしてください。
  2ページの「必要な作業・保守スペース」参照。
- カバーを外したり、本体の分解・改造をしないでください。けがや感電故障の原因となります。
- 故障していたり通常とは異なる動作・異音などがある場合はただちに使用を中止してください。
- 作業をする時は断裁するとき以外は電源を入れ状態にしないでください。紙をセットしたり、取る時には電源を必ず切って下さい。
- 電源は10A以上で表示された電源以外では使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災や感電のおそれがあります。危険防止の為必ずアース線を接続してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 安全カバー等を絶対に取り外さないでください。また、刃の交換は取扱説明書の手順に従ってください。けがのおそれがあります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなど異常事態のときは、まず本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理にお出しください。
そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。

異物（金属片・液体等）が機器の内部に入った場合は、本体の電源スイッチを切ってプラグをコンセントから抜き、修理にお出しください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

駆動部や紙押さえのしたに手を入れないでください。手をはさみけがをする危険があります。

用紙以外のもの、あるいはステープラ針等の異物が入った状態で使用しないでください。硬いものを断裁すると事故やけが、故障の原因となることがあります。

断裁能力（下記＜仕様＞参照）以上の枚数は断裁しないでください。
無理をされますと、故障やけがの原因となることがあります。

安全カバーの上には物を置いたり、手をおいたりして加重をかけないで下さい。けがや故障の原因となることがあります。

テーブルの上に、断裁する紙以外のものは置かないでください。
けがの原因となることがあります。

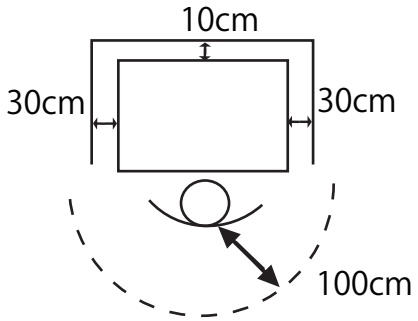
湿度・温度の高い場所やホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
故障やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本体を持つ時や保守作業する時は手袋をして作業をしてください。けがのおそれがあります。

長時間、本機械をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必要な作業・保守スペース図



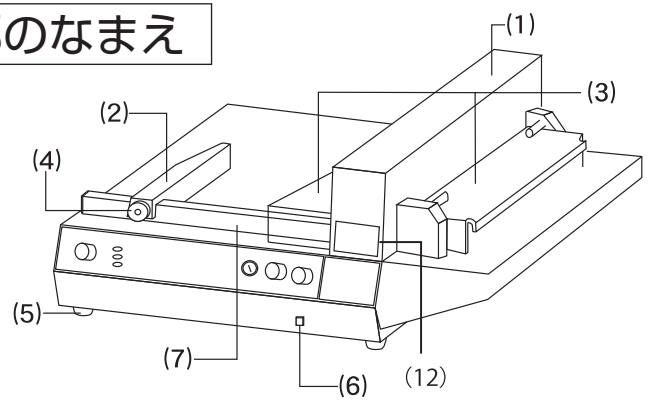
- 断裁機本体の後面は壁から最低10cmの空間を確保してください。
- 断裁機本体の左右側面は壁から最低30cmの空間を確保してください。
- 作業者を中心に半径100cmの範囲に物や人が入らないよう空間を確保してください。

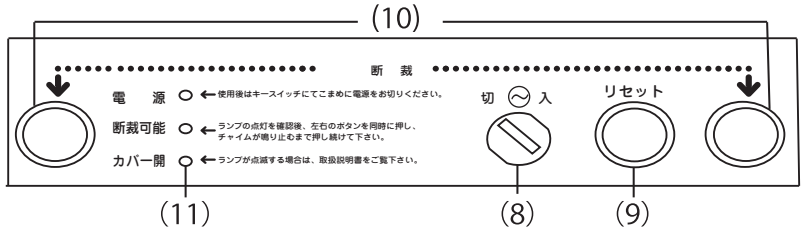
仕　様

型　　番	No.911	No.912
最大断裁幅	310mm（A4判長辺サイズ）	430mm（A3判長辺サイズ）
最大断裁厚	22mm（64g/㎡のPPC用紙約230枚）	
最小断裁幅	50mm	
断裁時間	約5秒（60Hz時）	
耐用年数	10年	
外形寸法	W581mm×D532mm×H257mm	W581mm×D652mm×H257mm
重　　量	42kg	50kg
電源容量	100V 50/60Hz （7A以下）	
消費電力	165/210W・50/60Hz	165/210W・50/60Hz
付属品	＋・－差替え式ドライバー …1本 工具袋 ……1袋	L型レンチ(2.5mm) ……1本 T型六角レンチ(4mm) ……1本

※刃物・受木の耐久性は一般的なPPC用紙の場合は、1000カット前後で替えてください。
硬い用紙・切れにくい用紙をカットする場合は1/10程度とお考え下さい。

各部のなまえ





1	カバー	5	ゴム足	9	リセットスイッチ
2	紙あて定規	6	安全ブレーカー	10	断裁スイッチ
3	安全カバー	7	ガイド板	11	電源・断裁可能・カバー開ランプ
4	紙あて定規止めネジ	8	電源キースイッチ	12	銘板・型式検定合格銘板

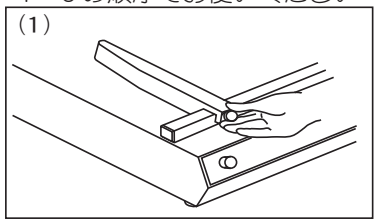
使用方法

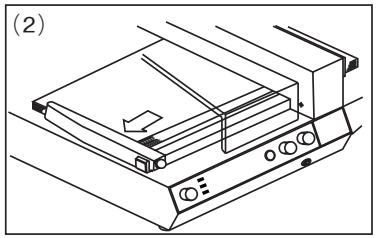
※断裁作業は必ず一人で行ってください。

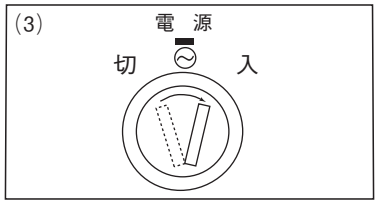
⚠ 使用前点検

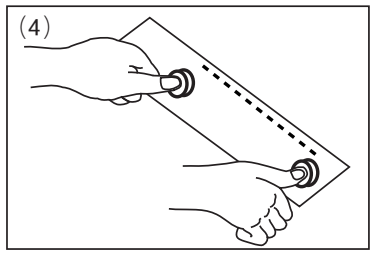
使用する前に使用前点検を実施し、異常がある場合は使用しないでください。
1.断裁機本体・電源コードに異常が無いかを確認する。
2.電源を入れ断裁可能ランプの点灯を確認する。
3.カバーを開けて、カバー開きのランプの点灯を確認する。
4.テスト断裁（空運転）をして動作に異常が無いことを確認する。

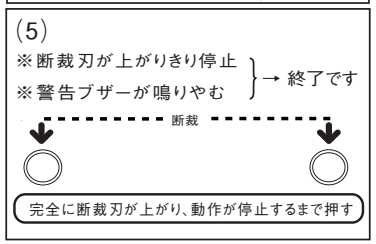
1～5の順序でお使いください





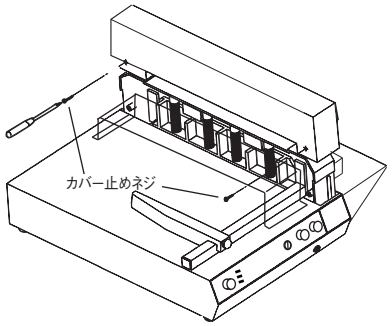


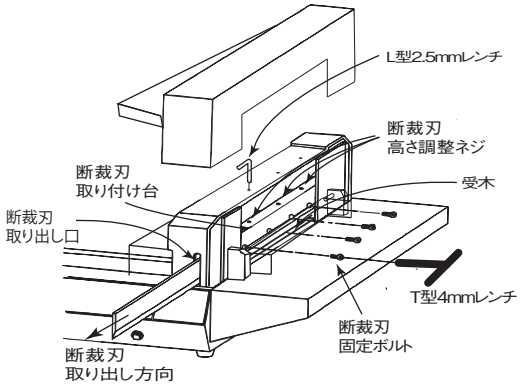




1. 紙あて定規止めネジがゆるんでいる事を確認後、紙あて定規を移動させ、ガイド板の目盛に合わせます。合わせたら紙あて定規止めネジで固定してください。
※ 断裁寸法表示は断裁刃の刃部からの実寸です。
2. 断裁する用紙をセットして、紙あて定規に正確にセットします。
（ガイド板には当てないでください）
3. 電源スイッチにキーを差込み「入」まで回しますと、電源ランプ（緑色）が点灯します。この時、光によるカットライン（赤色）が用紙の上に表示されていますので、断裁位置が正しいか確認してください。確認終了後、安全カバーを閉めてください。
4. カバー開ランプ（赤色)が消灯した数秒後に断裁可能ランプが点灯します。確認したら左右の断裁スイッチを同時(0.5秒以内)に両手で押してください。断裁が行われます。
※ 断裁中は「チャイム音」にて警告します。断裁作業中に片手もしくは両手を裁断スイッチから離したり、安全カバーをあけると安全のため断裁刃は瞬時にストップします。
5. 警告チャイムが鳴り終わりましたら断裁は完了です。安全カバーを開けて、用紙を取り出してください。使用後は必ず電源キースイッチを「切」にしてください。
6. 電源キースイッチが「入」状態で一定時間操（ 作が行われないと自動的に電源がオフになります。再び断裁作業を行う場合はキースイッチを再度「切」まで回して「入」に戻してください。
※ リセットスイッチについて … 断裁刃が下降中に断裁スイッチから手をはなし、リセットスイッチを押して、再び断裁スイッチを押しますと断裁刃は上昇し、上昇端で停止します。上昇中にリセットスイッチを押した後、断裁スイッチを押すと断裁刃は下降します。

断裁刃の交換方法





⚠警告　刃物ですので、取り扱いには十分注意してください。

- 断裁刃の交換作業は必ず1人で行ってください。刃先には十分注意してください。
- 本体を持つ時や保守作業する時は手袋をして作業をしてください。
- 断裁刃の取り外し・取付け・調整の業務を行なう時は特別教育を受講された者に限られます。けがのおそれがあります。
※労働安全衛生法第59条　労働安全衛生規則36条
- 断裁刃の交換作業中は、こまめに電源を切りながら作業してください。

◎はずしかた

1. カバー止めネジ2ヶ所をとり、カバーを上へ持ち上げ外します。
2. 電源を入れて断裁スイッチを両手で押し、断裁刃の刃先が受木から1～2mmの位置にくるまで作動させ、電源を切ります。
3. 断裁刃固定ボルト4本（No.911は3本）をT型レンチで外します。刃先は受木に落ちます。
4. 断裁刃をスライドさせて断裁刃取り出し口より引き抜きます。
5. 断裁刃取り付け台を上昇端まで上げ、断裁刃高さ調整ネジ3本（No.911は2本）を付属の2.5mmL型レンチにて反時計回りに回し、ネジの頭を1mm程度出して下さい。刃物調整ネジは2mm以上出さないで下さい。

◎取り付けかた（調整方法）

1. 断裁刃を挿入する前に、必ず受木の面を替えるか、新しい受木と交換してください。
2. 電源を入れて断裁スイッチを両手で押し、断裁刃取り付け台を最下端まで下げ、電源を切ってください。
3. 断裁刃を取り出し口よりスライドして断裁刃取り付け台の穴に合わせ断裁刃固定ボルトを4本（No.911は3本）を軽く締めます。
4. 断裁刃取り付け台を上昇端まで上げ、断裁刃高さ調整ネジを断裁刃にあたるまで締め、断裁刃にの刃先と受木が平行になるように調整します。
電源を入れ、薄い紙を一枚断裁して切れ残りがないようにしてください。
※調整量は、1回につき1/8～1/4回程度です。
※断裁刃高さ調整ネジは時計回りにまわすと、刃物が下がります。
正しく平行がどの位置でも切れることを確認したら、断裁刃固定ボルト4本（No.911は3本）をしっかり締めてください。
5. 断裁刃取り付けボルトをきつく締め、高さ調整ネジがないか再度確認してください。
6. カバーを付けネジを2ヶ所締め、作業終了です。

受木の交換方法

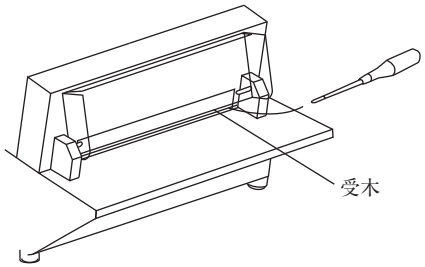
⚠注意　交換の際は、刃先に触れないよう十分注意してください。

受木の溝が深くなりますと、断裁能力が低下します。早めに取り替えてください。

① 受木の溝にマイナスドライバー等の先端をこじ入れて、受木を押し上げるように外します。

② 受木の新しい面を断裁刃の下になるように設置します。

※ 受木が使えなくなった場合は、専用の受木を別途お買い求めください。



断裁刃の研磨について

・いつも良い状態で、より良くお使いいただくために摩耗した刃は研磨(有償)をおすすめいたします。お買い上げいただいた販売店へお申し込みください。ただし、研磨できる回数には限りがあります。再研磨する期間中もご使用いただくために、もう一本替刃をご購入いただくことをおすすめします。

※刃物・受木の耐久性は一般的なPPC用紙の場合は、1000カット前後で替えてください。硬い用紙・切れにくい用紙をカットする場合は1/10程度とお考え下さい。

お手入れ方法

・本体の汚れがひどい場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう水拭きした後、から拭きしてください。

・シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。

定期自主検査について

・断裁機をご使用の管理者には、法令により定期自主検査を義務づけられています。（1年以内に1回の検査と、3年間の記録を保存）

※労働安全衛生法第45条・第120条

・定期自主検査を代行する自主検査サポートをご用意してありますので、お客様相談室まで、お問い合わせください。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記内容にそって確認してください。

◎ 電源スイッチを「入」にして断裁ボタンを押しても動作しない

① 電源コードのプラグはコンセントに差し込んでありますか。

② 操作盤下部にあるブレーカーがOFFになっていませんか。OFFの場合はONに戻してください。

③ 断裁ボタンを同時に押していますか。断裁ボタンを同時(0.5秒以内)に押さないと動作しないので、同時にボタンを押してください。

④ 電源を入れて、断裁可能ランプが点灯する前に断裁ボタンを押していませんか。断裁可能ランプが点灯するまで3秒ほどかかりますので、確認してから断裁してください。

安全カバーがあがっていませんか。しっかりと下りているか確認してください。

◎ 操作パネルの『カバー開』ランプが点滅している

① カバーの片側に紙くず等が挟まっていないか確認してください。

② 電気回路が故障している可能性があります、お買い求めの販売店までご連絡ください。

◎ 断裁面に斜めのスジが入る

① 断裁刃の刃先の一部分が欠けていませんか。研磨もしくは刃物交換をしてください。

※ 機械内部には精密部品などが組み込まれています。絶対に分解しないでください。

※ その他の異常が発生した場合は、電気回路、機械内部に異常があると思われますのでお買い求めの販売店にご連絡ください。

◎ 断裁中に刃物が紙に食い込んで止まってしまった

① 安全ブレーカーがOFFなっている場合はONにもどしてください。

② リセットスイッチを押しリセットスイッチの点灯を確認して断裁スイッチを押してください。（止まった位置から断裁刃が上昇端までもどります。）

③ 断裁刃が摩耗していますので研磨もしくは新品と取り替えてください。

※リセットスイッチは一度上昇端定位置に戻ると自動的にキャンセルされます。

◎ きれいに断裁できない・1～2枚切れないで残ってしまう

①受木の切り取りあとが深くなりますと、刃の切れがわるくなります。
＜受木の交換方法＞に従って受木を交換してください。

②断裁刃の高さ調整不足の可能性があります。
＜断裁刃の交換方法＞　<取付けかた>に従って調整してください。

③ 断裁刃が欠けているか、摩耗していませんか。研磨もしくは交換をしてください。

④ その他機械内部のに異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

※ 納入後、50回～100回程度断裁しますと最後の1、2枚が切れ残る事があります。これは、機械特有の初期摩耗により起きる現象です。
その場合断裁刃の取付け方を参照しながら、断裁刃高さ調整ネジを締めて調整して下さい。

◎ 用紙のどちらか一方が断裁できない

① 断裁刃と受木が平行になっていますか。断裁刃固定ボルトを1／4回転ほどゆるめて切れない方の刃物高さ調整ネジを少しずつ締めて、カットを繰り返し刃物の平行を出したのちに断裁刃固定ボルトを締めてください。

◎ 操作板の<カバー開>ランプが点滅している

① カバーの片側に紙屑等がはさまってないか確認してください。

② カバーをひねって開閉した場合は電源を一度切ったのちに再度開閉してください。

③ 上の動作を確認しても点滅する場合は、電気回路・カバースイッチが故障している可能性があります。修理にお出しください。

その他

・ご使用中、本体に異常が生じた場合は、もう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、それでも故障と思われる場合は、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。（電気基板・モーター等の故障に関しましては一年間の無償修理となっております。）それ以外の部位につきましては、状況に応じて有償もしくは無償にてお客さまのご要望により修理させていただきます。

・この製品を譲渡、又は貸し出しされる場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

・修理、その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記のお客様相談室までご連絡ください。

お客様相談室

フリーダイヤル（全国共通）

お問い合わせは午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL 0120-074416　FAX 0120-402539

株式会社ライオン事務器

13F